

特集 電子ジャーナルアンケート

平成 25 年 6 月 3 日～6 月 14 日に教員及び大学院生を対象に実施した電子ジャーナルの利用に関するアンケートについて集計結果がまとまりました。この結果は今後の電子ジャーナル・データベース整備計画の参考とさせていただきます。

紙面の都合上、回答結果の概説としますが、回答結果の詳細は図書館ホームページ上で閲覧可能です。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/local/ej/kekka2013/kekka2013.html> (学内限定)

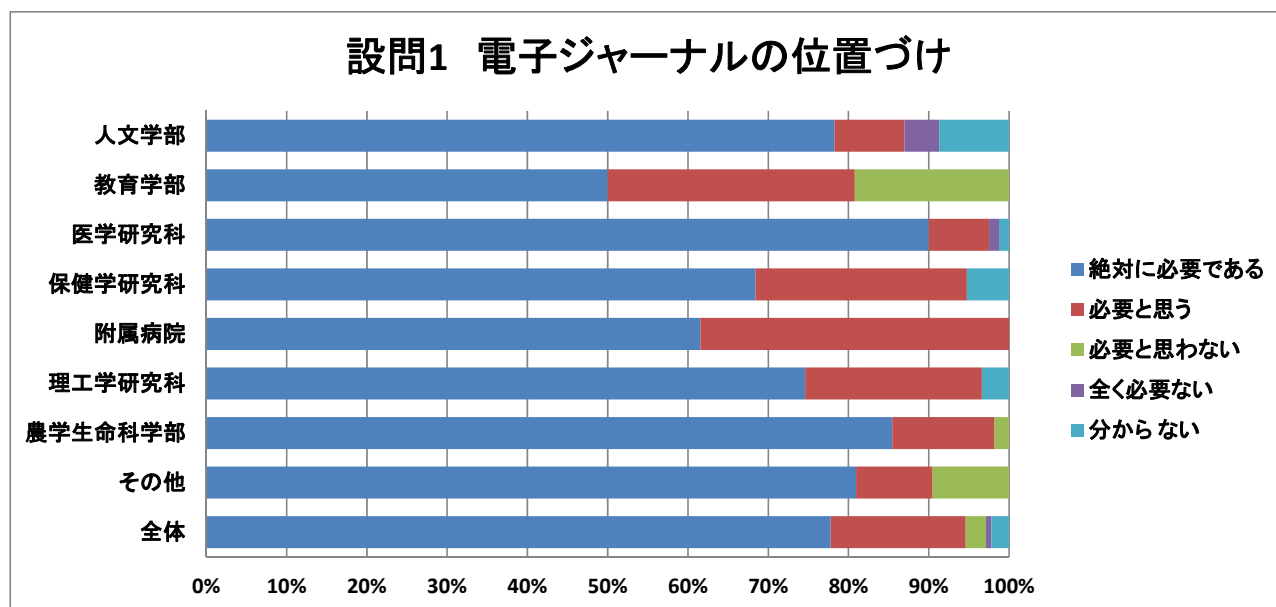
【回答状況】

回答率推移	H20	H21	H22	H23	H24	H25
教員・回答数	249	228	241	280	242	263
教員・回答率	36%	34%	33%	37%	32%	35%
大学院生・回答数	—	—	—	14	19	52
大学院生・回答率	—	—	—	1.7%	2.4%	6.8%

回答方法	回答数
アンケート用紙	156
Web フォーム	159
総 計	315

教員の回答率は 35%で、部局によりばらつきが見られ、電子ジャーナルの利用率の高い部局（医学研究科・理工学研究科・農学生命科学部）ほど、回答率が高い傾向（50%前後）があり、関心の高さがうかがえます。

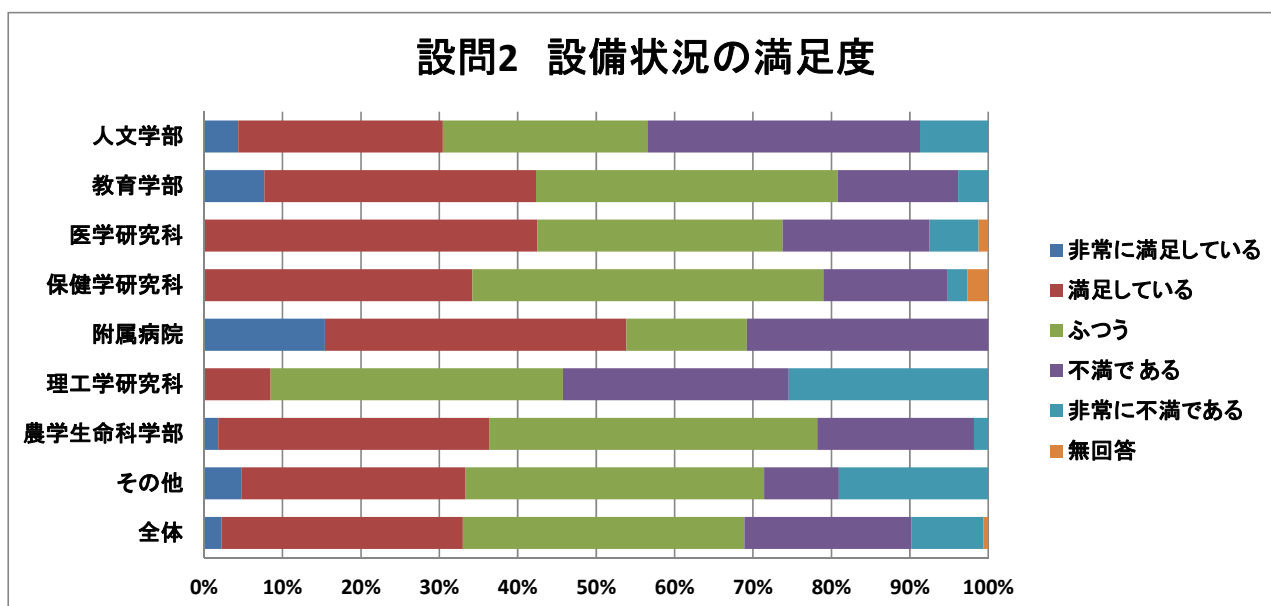
【設問 1】電子ジャーナル・データベースはご自分の研究上でどのような位置付けにありますか？



※その他＝地域社会研究科、各研究所・センター等

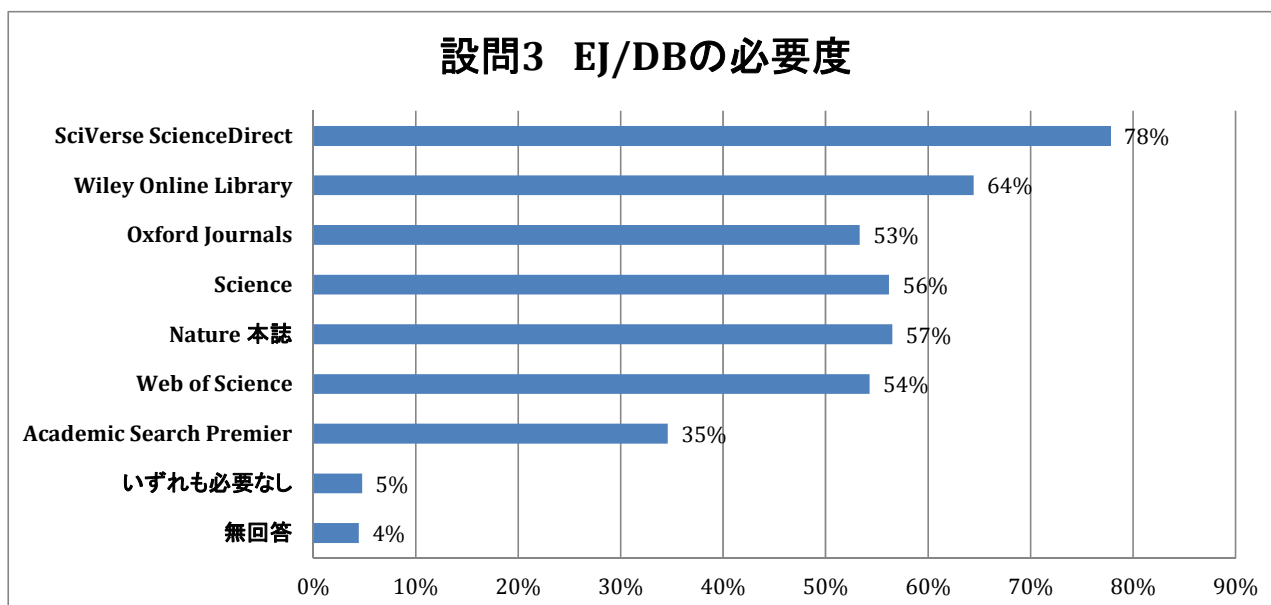
設問 1 については、「絶対に必要である」・「必要と思う」という回答が全体の 95%を占め、電子ジャーナルが研究する上で必要なツールであると認識されている結果となりました。部局別で見ると、教育学部が他の学部より必要度が低い傾向がありますが、それは、「研究分野が美術（実技）のため必要ではない」というような理由によるものと思われます。

【設問2】 本学の電子ジャーナル・データベースの整備状況について、満足していますか？



設問2については、「ふつう」が36%で一番多く、「非常に満足している」・「満足している」が33%、「不満である」・「非常に不満である」が30%と、満足している人と不満である人が半々に分かれたという結果になりました。部局別では、理工学研究科で回答者の半数以上の約54%が不満を持っていて、物理学 (APS)、電気・電子工学 (IEEE)、化学 (ACS, RSC) の電子ジャーナルパッケージや、データベース (SciFinder 等) を整備して欲しいという要望が多数ありました。また人文学部では、自分の研究に必須のデータベース (文学関係のデータベース、オンライン辞書、海外の法律データベース等) が整備されていないという理由で、不満度が高くなっているものと思われます。

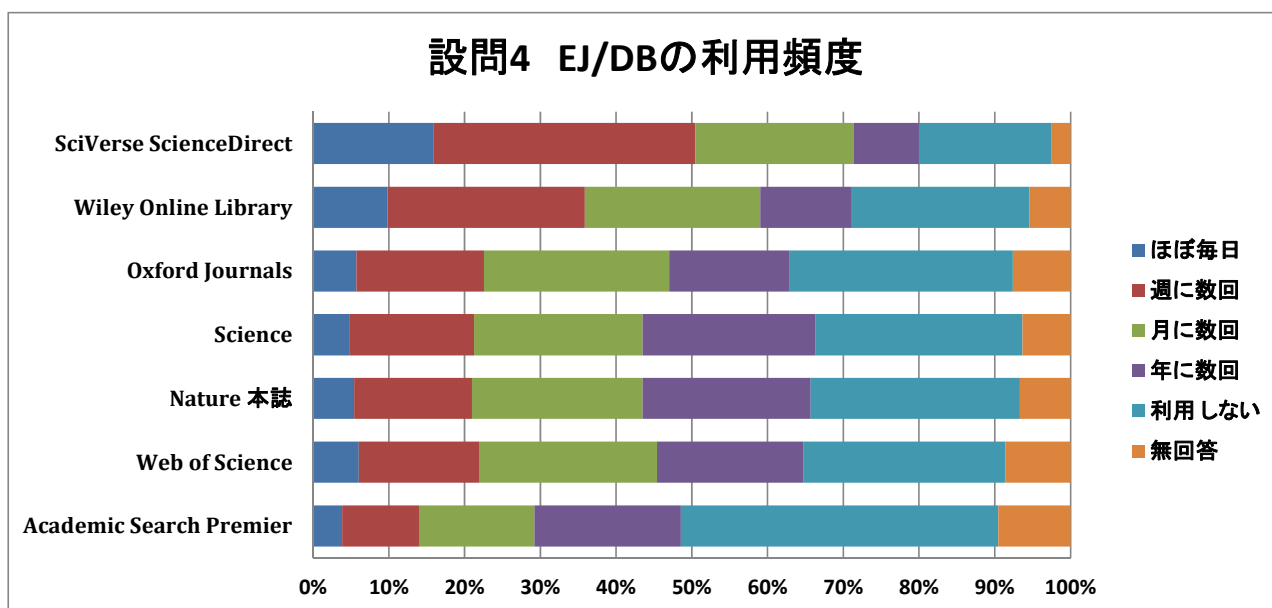
【設問3】 現在、附属図書館では、全学的経費により、5種類の電子ジャーナルパッケージと2種類の検索データベースを提供しています。今後も必要と思われるものに○をつけてください (複数回答可)。



設問3については、「SciVerse ScienceDirect」の78%を筆頭に、「Wiley Online Library」から「Web of Science」までは5~6割前後の人が必要であると答えています。「Academic Search Premier」が35%で人気がないものの、実際の利用率は決して悪くありません。(年間で3,564件 (H24実績)) これは各

出版社のバックナンバーを集めたアグリゲータサービスであり、Academic Search Premier だと意識しないで使っている人も多いのではないかと思います。最新1年分は見られないものの、Nature 関連誌等約 4,600 誌のバックナンバーが閲覧でき、幅広く他のパッケージを補完するような形で活用されています。

【設問4】現在、附属図書館で提供している電子ジャーナル・データベースについて、それぞれの平均的な利用頻度についてご記入ください。



設問4については、「SciVerse ScienceDirect」と「Wiley Online Library」において、「ほぼ毎日」・「週に数回」の割合が高く、頻繁に利用している人が多いという結果になりました。

【設問5】普段よく利用している電子ジャーナルやデータベースのタイトル名をご記入ください（自由回答）。

順位	タイトル	分野	EJ/DB	回答数	備考
1	SciVerse ScienceDirect	全般	EJパッケージ	25	Elsevier社。フリーダムコレクション・パッケージ契約中。
2	Nature	自然科学	EJ	19	Nature Publishing Group。サイトライセンス契約中。
3	Science	自然科学	EJ	16	AAAS社。サイトライセンス契約中。
4	PubMed	医学	DB	13	NLM/NCBI。無料で利用可能。
5	PNAS : Proceedings of the National Academy of Sciences of the USA	自然科学	EJ	12	図書館・全学共同利用雑誌。EJ only 契約中（単品）。

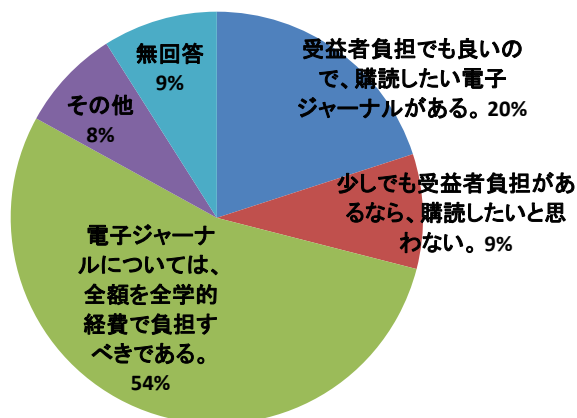
設問3・4でも見てきた通り、この設問5でも「SciVerse ScienceDirect」の人气が高く、1位となりました。医学系の論文を検索するには、無料のPubMedが良く使われているようです。

【設問6】今後本学で整備して欲しい電子ジャーナルやデータベースがありましたら、ご記入ください(自由回答)。

※紙面の都合上、ここには掲載しませんので、ホームページをご覧ください。

【設問7】附属図書館では、特定の研究分野や講座から要望の高い電子ジャーナルを新規導入する場合は、全学的経費と受益者負担の併用による購読形態とする、という方針がありますが、このことについてご意見をお聞かせください。

設問7 経費と受益者負担の併用について



現在既に導入済みのパッケージ・データベースについては全て全学的経費で負担しておりますが、今後新規導入する特定の研究分野の電子ジャーナルについては、全学的経費と受益者負担の併用を考えております。そこで設問7でご意見を伺ったところ、「電子ジャーナルについては、全額を全学的経費で負担すべきである」が54%で回答者の半数を占めました。しかしながら、「受益者負担でも良いので、購読したい電子ジャーナルがある」という回答も20%あり、今後の可能性を窺わせます。

【設問8】その他、電子ジャーナルの利用についてご意見がありましたら、ご記入ください(自由回答)。

※紙面の都合上、ここには掲載しませんので、ホームページをご覧ください。

このアンケートは、平成20年度から毎年実施しています。皆様のご意見をお聞きし、今後の整備計画に役立てていきたいと思っておりますので、今後ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

研究推進部学術情報課資料管理グループ雑誌情報担当 (附属図書館3階・臨時事務室)

Tel : 39-3157 Fax : 39-3171 E-mail : jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp